

〔参考資料〕

1 トラフグ漁獲量

愛知県のトラフグの漁獲量は、平成13年から3年連続全国1位でした。

その後、資源量の低迷からやや順位を下げましたが、18、19年と漁獲量は着実に伸びる見込で、今後に期待されています。

(1) トラフグ漁獲量全国順位

単位：トン

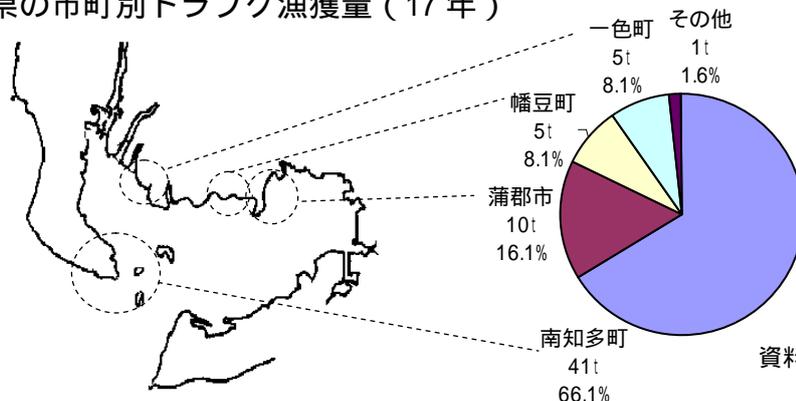
	1位	2位	3位	4位	5位	全国
13年	愛知 158	山口 99	静岡 66	広島 47	福岡 43	458
14年	愛知 257	三重 201	愛媛 139	山口 93	静岡 84	1,028
15年	愛知 154	三重 103	愛媛 74	山口 71	福岡 67	697
16年	愛媛 97	愛知 79	山口 70	福岡 61	三重 44	535
17年	愛媛 65	山口 63	愛知 62	福岡 57	大分 37	457

注) 調査が実施されている都道府県のみでの統計による。養殖は含まない。

資料：農林水産統計（農水省）

18年の愛知県漁獲量は72トン（速報値）

(2) 愛知県の市町別トラフグ漁獲量（17年）



資料：農林水産統計（農水省）

2 ふぐはえ縄漁業について

長くつなげた幹縄にたくさんの釣り針をつけてトラフグを釣る漁法で、県内のトラフグ漁獲量の約半分を占めます。操業隻数のほとんどは南知多町の篠島、日間賀島にあります。

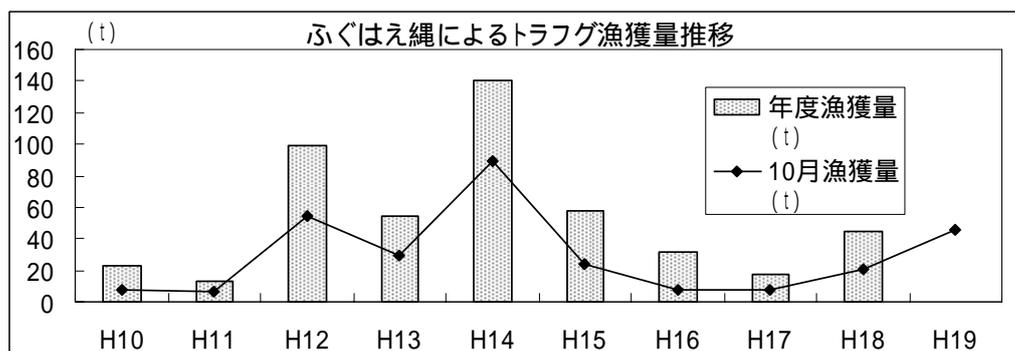
操業隻数：90隻前後（19年度）

操業期間：10月～2月（愛知海区漁業調整委員会指示により規制）

主な漁場：渥美外海（遠州灘）

漁獲量の推移

昨年度から上向きで、今年10月までの漁獲量は昨年同期の倍以上です。



資料：水産試験場調べ

注) 前記1の表はふぐはえ縄の他に底びき網等も含む漁獲量で、集計期間は歴年（1～12月）です。このグラフはふぐはえ縄のみの漁獲量で、集計期間は年度（10～2月）です。